

# 金沢医科大学

## 氷見市民病院



### 《 病院の理念 》

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として  
次のような病院をめざします。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

氷見海岸 漁火ロード

### 目次：

医療安全講習会 .....	2
平成22年度 看護ふれあい体験 .....	2
透折看護認定看護師合格	
各診療科から ①産婦人科 .....	3・4
②腎臓内科	
平成22年度 常勤医師紹介 .....	5・6
編集後記 .....	6



### 高齢者疑似体験研修会 (平成22年度 第1回医療安全講習会)

平成22年6月4日(金)院内の職員を対象に、高齢者疑似体験研修会が開催された。講師として外部より、久光製薬株式会社 佐藤勲先生をお招きし、参加者41名で行われた。

参加者には、メガネや包帯などを着用し、高齢者の視野、動きを真似て院内を移動してもらい、実際に体験してもらった。院内での危険箇所や見難い表示など気がついたことなどを発表してもらった。「廊下の出っ張りの危険」「廊下の案内用の線の色の不明度」「案内板の掲示箇所の分かりにくさ」など、体験して初めて感じた意見が寄せられた。今後はこの研修を通して高齢者にとっての環境整備、文字の説明よりも口頭での説明をしっかりと行い、理解してもらう努力など、通常行っている業務に関連した患者サービスの在り方を考えるいい機会となった。この内容の研修は今年度もう一度看護部を中心に行い、次年度からも継続して行っていきたい。(医療安全対策部 堤 貴夫)



(手袋、サングラスを着用して、小銭を出している様子)



体に重りをつけて歩行している様子。  
重くていつものようには動くことが出来ない

### 平成22年度 看護ふれあい体験

看護協会が制定している「看護の日」に合わせて、平成22年5月12日(水)当院の講堂において「丈夫な骨作り」をテーマに、市民を対象にふれあい看護教室が開催されました。

初めに、整形外科 講師 渡部公正医師より講演があり、続いて栄養部 管理栄養士 田中京美さんから正しい調味料の測り方などの参加者体験型のお話がありました。その後、看護師による足腰元気度チェックも行われました。日頃しないような動きも含めながら足腰の元気度・動き、骨密度などを測定したので、参加者の中からは楽しそうな表情や、辛そうな表情などがみられました。その中でも筋力低下があった人には、氷見市健康課の保健師へ今後の生活のアドバイスや予防教室の案内などを行ってもらうようにしました。参加された人からは「楽しく学べ、よく理解ができた。」「すぐに実行できることばかりなので続けてやってみたい」などの意見が聞かれました。

今後も、市民参加型の病気になる前の予防教室や体験型教室などを開催していきたいと思えます。

(看護部 山田啓子)



### 富山県内初の透析看護認定看護師合格

当院の血液浄化センター 主查看護師 草山ひろみさんが富山県内で初めて、認定資格を取得されました。

昨年の10月から養成機関の東京女子医大で半年間研修をし、5月に試験を受け、7月に合格が発表されました。

7年間透析の看護に携わる中で、トータルな看護をもっと詳しく勉強し、患者さんの日々の生活、健康管理・指導に当たりたいと思い挑戦されました。

全国でもまだ115人と少ない認定者の中で、これから当院での看護はもちろん、県内外での慢性腎臓病の患者さんに適切な治療・看護のアドバイザーとして頑張ってもらいたいです。

(看護部長 伊藤澄美子)

写真  
透析治療中の患者さんと会話中の草山さん





ご存じですか？

予防できる『がん』があることを。

—子宮頸がんの予防ワクチンについて—

産婦人科 准教授 浦田 和彦



子宮がんは、がんのできる部位によって「子宮体（部）がん」と「子宮頸がん」に分けられます。その中で、子宮頸がんの罹患率は年齢別でみると35歳～39歳が最も多く、次いで30～34歳となっており、その数は年々増加傾向にあります。子宮頸がんはウイルスによって起こるため、若い世代の発症が多いのが特徴です。予防ワクチンを接種することで原因とされているヒト・パピローマウイルスの感染を防ぐことができます。

ワクチン接種の対象年齢は10歳以上ですが、接種後の性交渉による新たなウイルスの感染防御にも有効と言われています。日本で12歳の女兒全員に接種した場合、発症及び死亡率が70～80%減少すると言われています。

2009年に厚生労働省が正式承認し、国内での使用が可能になりましたが、感染予防ワクチンは6カ月の間に3回の接種が必要です。また費用は合計で約5万円と高額なため、市町村によっては公費補助がされているところもあります。今後ワクチン接種の普及について、学校からの指導やテレビなどの報道、広告が効果的だと思いますが、早く全国的に公費補助化されれば、多くの方々に接種してもらえると考えています。

欧米では「もし、あなたが20歳以上なら検診を！そして娘さんにはワクチンを！」と言われているくらい浸透していますので、ぜひ皆さんも、年に1度の検診と早い年齢でのワクチン接種をお勧めします。



産婦人科診療案内

	月	火	水	木	金	土
午前	浦田	浦田	浦田	浦田	浦田	休診
午後	浦田	休診	浦田	浦田	医科大 医師	

受付時間 午前8：30～11：00 午後13：00～16：00

## 『慢性腎臓病』について

～人口の10人に1人は『慢性腎臓病』～

腎臓内科 講師 齋藤淳史



みなさんは「高血圧」や「糖尿病」、「動脈硬化症」、「生活習慣病」などといった病名をご存じだと思います。それでは『慢性腎臓病』という病名を聞いたことはありますか？実は「高血圧」「糖尿病」「動脈硬化症」「生活習慣病」さらに「加齢」などから連続して引き起こる腎機能障害の総称が『慢性腎臓病』であり、多くは「慢性腎不全」として治療（食事療法や薬物療法、透析療法など）が必要な病気なのです。

『慢性腎臓病』は推定患者数が約1300万人と言われており、我が国の人口のうち、およそ10人に1人が罹患する疾患と認識されています。私たちの腎臓は加齢によって少しずつ働きが低下しますし、余病も加わって腎機能が悪化します。このため高齢になってから『慢性腎臓病』に侵され透析療法などの大変な治療を開始することもしばしば見られます。

この『慢性腎臓病』の治療について《自分の病状を知ること》が病気の進行をストップさせるために重要とされています。そしてステージ1から3（軽症から中等症）では生活習慣の改善（禁煙、肥満の解消）、食事療法（1日6g以下の減塩）、運動療法が重要とされており、地域の診療所の先生を中心に診療（変化があれば専門医に紹介受診）していただきます。一方、ステージ4、5（重症および透析治療）では腎臓専門医が中心となって治療を行っていくこととなります。

このように『慢性腎臓病』は多くの人々が患う可能性の大きい病気です。みなさんも“かかりつけ医”の先生と相談して、まずはご自身の『慢性腎臓病』を知ってみることに始めてみてはいかがでしょうか。

\*ステージの分類にはeGFR（腎機能の目安の数値）を用います。ご自分のeGFRおよびステージについては“かかりつけ医”の先生にお問い合わせください。

## 《血液浄化センター内撮影》

草山透析看護認定看護師が人工透析の機器を操作・管理している様子





1. 診療科
2. 役職
3. 氏名
4. 専門分野



循環器内科  
最高経営責任者  
竹越 襄  
循環器病一般・  
心不全



一般・消化器外科  
病院長  
高島 茂樹  
消化器癌診断・治療  
胃癌・大腸癌



一般・消化器外科  
副院長・教授  
齋藤 人志  
膵胆道癌  
一般外科・消化器外科



循環器内科  
副院長・教授  
泉 洋一  
循環内科



総合診療科  
院長補佐・教授  
神田 享勉  
循環器病  
臨床検査診断学



胸部心臓血管外科  
院長補佐・教授  
坂本 滋  
後天性心疾患・外科治療



循環器内科  
准教授  
三浦 元宏  
循環器



循環器内科  
講師  
山下 尚洋  
不整脈・心不全



腎臓内科  
講師  
齋藤 淳史  
慢性腎不全・  
透析治療



内分泌・代謝科  
准教授  
伊藤 智彦  
内分泌代謝制御



内分泌・代謝科  
助教  
渥美 久登  
糖尿病



高齢医学科  
助教  
石神 慶一郎  
高齢医学



総合診療科  
助教  
長谷川 真之  
内科一般  
整形外科一般



内科  
助教  
水野 宅郎  
内科一般



小児科  
講師  
藤木 拓磨  
小児腎臓病・夜尿症



小児科  
助教  
向山 弘高  
小児一般



一般・消化器外科  
准教授  
吉谷 新一郎  
消化器外科  
大腸・肛門疾患



一般・消化器外科  
講師  
田中 弓子  
一般消化器外科  
乳腺・甲状腺外科



一般・消化器外科  
講師  
向井 弘圭  
一般外科・乳癌



胸部心臓血管外科  
准教授  
九澤 豊  
後天性心疾患・外科治療



胸部心臓血管外科  
助教  
清澤 旬  
心臓血管外科



整形外科  
講師  
高田 秀夫  
整形外科一般  
股関節疾患  
関節リウマチ



整形外科  
講師  
渡部 公正  
整形外科一般  
脊椎脊髄外科



整形外科  
助教  
中波 暁  
整形外科一般



産婦人科  
准教授  
浦田 和彦  
産婦人科一般・更年期  
骨盤臓器脱手術



脳神経外科  
准教授  
高田 久  
血管内治療・脳血管障害  
頭部外傷



脳神経外科  
准教授  
倉内 学  
脳血管障害  
頭部外傷



脳神経外科  
助教  
草場 栄三  
脳神経外科一般



皮膚科  
講師  
渡邊 晴二  
皮膚科一般



皮膚科  
医員  
島田 俊嗣  
皮膚科一般



眼科  
講師  
土田 真紀  
眼科一般



耳鼻いんこう科  
講師  
大浦 一子  
耳鼻咽喉科全般



歯科口腔外科  
准教授  
松井 俊明  
口腔外科



臨床研修医  
天白 晶



臨床研修医  
鯉田 依紗



臨床研修医  
中村 喜亮

## 編集後記

例年にも増して暑かった夏が終わり、木々が彩る秋に季節が移り替わろうとしています。赤や黄色に色づく山々は、言葉では表せない暖かな「ぬくもり」を感じさせます。その中でも、真っ赤な紅葉が重なり合っている姿は、まるで人が手と手を取り合っているようです。人の手から受ける「温もり」は人の心を温めます。私達は、温かい手で思いやりのこもった看護（心）を提供していきたいと思っています。

また、患者さんから掛けてもらえる「ありがとう」の言葉が私達看護師の心を温めてくれます。

看護部 2病棟1階 八箇多恵

スポーツの秋という事で、体を動かそうと思いつきで用具一式を買いそろえたものの、まだ一度も使用していません。部屋の片隅で、私が再度体を動かそうと思うのを願っていることでしょう。

地域医療連携室 山田 昌昭

金沢医科大学氷見市民病院 広報委員会  
富山県氷見市幸町31-9

電話 0766-74-1900  
FAX 0766-74-1901

ホームページもご覧ください。

<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~himi/>